

第9章

計画の評価と進行管理

1. 目標指標の基本的な考え方
2. 目標指標の設定
3. 計画の進行管理と見直しについて

1 目標指標の基本的な考え方

本市では、将来にわたり都市機能誘導区域内の生活サービス施設の維持・充実を図ることで周辺の居住誘導区域に人を呼び込み人口密度の低下を抑制していくことを目標としていることから、「人口密度の維持」、「市民意識としての住みやすさの維持」を指標として目標値を設定し、達成状況等により必要に応じて計画の見直しを行います。

2 目標指標の設定

指標①	現状値	現状のまま 推移した場合	目標値	
	(データ時点) 2010年(H22)	2035年	(中期) 2020年	(長期) 2035年
居住誘導区域内の 人口密度	43.9人/ha	38.0人/ha	43.9人/ha 以上の維持	40.0人/ha 以上の維持
<p>【現状値及び現状のまま推移した場合の算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国勢調査値を基にGIS計測を行い、「居住誘導区域に居住する人口」を「居住誘導区域面積」で除して算出。 居住誘導区域の面積：約1,853ha 居住誘導区域内に居住する人口：約81,366人(2010年(H22年))、約70,494人(2035年推計値) <p>【目標値の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住誘導区域内の人口密度は、現状43.9人/haとなっています。中期目標は現状値以上の維持、長期目標は生活サービス施設の立地に必要となる40人/ha[*]以上の維持とします。 <p>※長期目標値：本計画最終年度(2037年)直近の国勢調査値を採用する ※40人/ha：都市計画法施行規則に定める住居系既成市街地の人口密度の基準で、生活サービス施設の立地に必要となる人口密度の目安</p> <p>【磐田市人口ビジョンから見る目標値の妥当性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 磐田市人口ビジョンに示す現状値(2010年(H22年))と推計値(2035年)の人口減少率から算出。 居住誘導区域の面積：約1,853ha 人口ビジョンの人口減少率：約174,945人(2010年(H22年))、約159,106人(2035年推計値)、△9.05% 居住誘導区域内に居住する人口：81,366人(2010年(H22年)) × (1-0.0905) ≒ 74,002人(2035年) 居住誘導区域内の人口密度：74,002人 ÷ 1,853ha ≒ 39.9人/ha(2035年) <p>【参考値】</p> <ul style="list-style-type: none"> 居住誘導区域内の可住地[※]での人口密度は、69.8人/ha(2010年(H22年))、現状のまま推移した場合は60.5人/ha(2035年)となります。 ※可住地：都市計画基礎調査の土地利用別面積のうち、住宅用地・商業用地・田・畑・その他の空地(建物跡地等の未利用地や平面駐車場等) <ul style="list-style-type: none"> 居住誘導区域内の可住地面積：約1,166ha 居住誘導区域内に居住する人口：約81,366人(2010年(H22年))、約70,494人(2035年推計値) 				

指標②	現状値	目標値	
	(データ時点) 2015年(H27年)	(中期) 2020年	(長期) 2035年
住みやすさを感じる 市民の割合	約47%	約50%以上	約50%以上
<p>【設定の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住みやすさを感じている市民の割合は、現状値で約47%となっていますが、中期・長期目標では、市民の半数以上を目標値として設定します。 <p>【指標の算出方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民意識調査の『住生活の向上』に関する設問において「満足」、「やや満足」と回答する市民の割合 			

3 計画の進行管理と見直しについて

本計画の計画期間内においては、都市計画マスタープラン等に示す施策の進行状況や社会的な動向の変化も予想されるため、上位計画や関連計画の見直しとの整合を図りつつ、前項で設定した目標値の達成状況の評価を行い、本計画の進捗状況や妥当性等を精査、検証していきます。検証の結果、必要に応じて適宜計画の見直しを実施していきます。

具体的には、以下に示す PDCA サイクルの考え方に基づき、適切な進捗管理を行いつつ、目標値の達成を目指していきます。

(PDCA サイクルの考え方)



評価については、国勢調査等の結果公表に合わせた概ね5年毎に人口密度の比較や誘導施設の立地状況、誘導施策の取り組み状況等を検証し、目標値の達成状況を評価します。

なお、その結果は磐田市都市計画審議会へ報告し、必要に応じて計画を見直します。

(評価・検証による計画推進のイメージ)

													(年度)				
2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028~2037				
			策定	5年間での取組					評価	5年間での取組					評価	評価	評価
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5					
国勢調査	都市計画 基礎調査				国勢調査	都市計画 基礎調査				国勢調査	都市計画 基礎調査		必要に応じて計画の見直し ・誘導区域・施設 ・誘導施策 ・目標値設定等				

